

(単位：千円)

決算書 (P262～P263)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	食育推進支援事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,763	1,343		228			1,115
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
—	420		151	82	187	

【目的】

上越市食育推進条例及び上越市食育推進計画に基づき、市民一人一人が、自らの健康に関心を持って食を選び取っていく力を身につけることができる社会の構築を図るため、全市民的な運動として「食育」を総合的かつ計画的に推進する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

上越市食育推進計画の推進 270

○令和3年度目標

- ・第3次食育推進計画（平成29年度～令和3年度）に基づくアクションプランの各事業の目標を達成する。
- ・第3次食育推進計画の指標項目の目標達成度とこれまでの食育推進施策と食をめぐる現状を踏まえ、第4次食育推進計画（令和4年度～令和8年度）を策定する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・食育推進会議の開催（年3回）

第3次食育推進計画に基づくアクションプランの進捗管理、評価及び検証を行うとともに、検証結果並びに食育推進会議委員や市内食育推進関係課の意見等を踏まえて、第4次食育推進計画と推進計画に基づく実施計画（アクションプラン）を策定した。

- ・食育市民アンケートの実施

第4次食育推進計画策定の基礎資料となる食育に関する市民の意識・実態の状況を把握するため、アンケート調査を実施した。

＜食育市民アンケート＞

実施期間：令和3年9月10日から9月30日まで
回収数：1,280（対象者（18歳以上）：3,000人）
回収率：42.7%

＜高校生食育アンケート＞

実施期間：令和3年10月25日から11月5日まで
回収数：1,527（対象者：1,687人）
回収率：90.5%

決算書 (P262～P263)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	食育推進支援事業		

○目標達成状況

- ・アクションプラン全47事業のうち、33事業は目標を達成したが、新型コロナウイルス感染症対策の観点で実施できなかった2事業のほか、事業の参加者数や食に対する市民の実践度が目標に届かなかったなど、成果が不十分だった事業が12事業あった。
- ・これまでの食育推進施策と食をめぐる現状に加え、食育推進会議委員等の意見を踏まえて、第4次食育推進計画とアクションプランを策定した。

「食育」の普及・啓発 352

○令和3年度目標

- ・食育実践セミナーの参加者に分かりやすく食の大切さを伝えるほか、ホームページ及びSNSによる積極的な食育情報の発信を行う。

○実施内容、これまでの経過等

- ・食育実践セミナー
市民全世代が食への関心を高め、自分や家族の食生活を考え、食育の実践の環を広げる機会とする食育実践セミナーについては、新型コロナウイルス感染症対策の観点から開催を中止としたが、当日予定していた食育講演会やパネル展示の内容を「食育実践セミナー（WEB版）」として市ホームページで紹介した。
- ・食育推進連携事業
若い世代に対する食育を推進するため、青年期一歩手前に当たる高校生を対象に、上越教育大学と連携して、食の大切さを伝える講義を行い、今後の食に対する意識形成を図ったほか、取組の成果を市民に発表する「上越市食育推進事業発表会」を開催し、高校生が上越の食の取組を発信する機会とした。

対 象	実施内容
県立高田高等学校 2年生	・特別授業（家庭科）「食育講座」
県立高田農業高等学校 食品科学科 食品加工コース	・特別授業「食育実践講座」・講義（全学年） ・市民向け「食育推進事業発表会」の開催（3年生）
県立高田北城高等学校 生活文化科 1年生	・講義「高校生の今、知っておきたい『食』のこと」



〔県立高田農業高等学校による
「上越市食育推進事業発表会」〕

・食品ロス削減に向けた啓発

10月の食品ロス削減月間に、報道機関及び市ホームページを通じて食品ロスの現状と削減に向けた対策について啓発した。

決算書 (P262～P263)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	食育推進支援事業		

・食育月間での啓発

6月の食育月間の啓発事業として、「もぐもぐジョッピーの食育フェア」を開催し、自分の食生活を考え、食育の実践の環を広げる場を提供するとともに「食育月間」、「食育の日」の普及啓発を行ったほか、今後の食育活動に活用してもらうため、農林水産省発行の「食育ガイド」を始めとした食育啓発物を市内保育園、幼稚園、小中学校に配布した。

<もぐもぐジョッピーの食育フェア>

開催日：令和3年6月12日（土）

会場：無印良品直江津 OpenMUSIC

参加者数：延べ240人



上越市食育推進キャラクター
「もぐもぐジョッピー」



〔「食育月間」「食育の日」の啓発〕



〔お椀にお湯を注ぐだけで簡単に味噌汁が作れる「みそまるづくり」体験〕

・食育関連情報による啓発

市ホームページ「上越の食育」ページを通じて、食育の実践につながる食育情報を随時発信したほか、料理レシピのウェブサイト「クックパッド」に上越市の郷土料理や旬の地場産食材のレシピを掲載し、若い世代への郷土料理の伝承と普及、家庭での料理の実践につなげた。

○目標達成状況

・食育月間における啓発イベントの開催のほか、食育実践セミナーをWEB版として紹介するなど、市ホームページやSNSを活用しコロナ禍においても状況に応じた食育啓発を実施することができた。

地産地消推進の店認定事業 721

○令和3年度目標

・認定店舗数 170店以上

○実施内容、これまでの経過等

・上越市地産地消推進会議の開催（年2回）

地産地消推進の店の新規認定・更新の審査のほか、各種事業の効果的な実施方法について意見交換を行った。

・地産地消推進の店の募集・認定

上越産品を積極的に取り扱う「地産地消推進の店」の募集を行い、令和3年度は小売店6店と飲食店8店を新たに認定するとともに、啓発用のぼり旗の貸与や市ホームページにより認定店の周知を図った。



〔地産地消推進の店啓発用のぼり旗〕

決算書 (P262～P263)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	食育推進支援事業		

・地産地消推進キャンペーンの実施

キャンペーンを通じて上越産品を市民及び観光客へPRすることにより、生産と消費の拡大を図ることとあわせ、「新潟県Go To Eatキャンペーン」第2弾食事券の利用期限後も、コロナ禍における地産地消推進の店に経済効果が途切れなく続くよう、「上越満喫♪買って・食べて・当てちゃおう！上越市地産地消推進キャンペーン」を実施した。

実施期間：令和3年10月15日から11月30日まで

協力店舗：35店

内容：期間中、対象商品を注文若しくは購入し、スタンプを集めて応募すると、抽選で参加店舗共通商品券や上越産農産物などの詰合せ、参加店舗提供商品が当たる。

応募件数：1,918件



[キャンペーンリーフレット]

・地産地消推進の店「プレミアム認定店」の新設

地産地消の一層の推進を図ることを目的に、地産地消推進の店のうち、地産地消の取組が一定基準を超える店を新たに「プレミアム認定店」として認定するに当たり、認定基準の作成及び認定店の募集を行った。

○目標達成状況

・令和3年度末の認定店舗数は173店となり、目標を達成した。

【事業の成果】

- ・コロナ禍における食育推進の形を見出し、第3次食育推進計画及びアクションプランに基づき、庁内食育推進関係課や市内の食育関係団体等と連携して各事業を推進した。
- ・新たに第4次食育推進計画及びアクションプランを策定し、今後5年間の食育推進の方向性を示すことができた。
- ・地産地消推進キャンペーンでは、令和2年度より462件多い1,918件の応募があり、市民及び観光客に地産地消や上越産品に関心を持ってもらったほか、コロナ禍においても地産地消推進の店に足を運んでもらう機会になった。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・アクションプランで成果が不十分であった事業は、庁内食育推進関係課とその原因・対策について情報を共有するとともに、取組を整理した上で、第4次食育推進計画のアクションプランに位置付け、目標達成に向けて取り組んでいく。
- ・食育の推進は、各ライフステージに応じた取組が必要であり、感染症対策を講じた食体験の場の提供や、各種広報媒体等での周知・啓発を継続して、第4次食育推進計画のキーワードである「食育の実践の定着に向けた取組の強化」を実践し、全市民的運動として食育を推進する。
- ・地産地消推進の店「プレミアム認定店」については、応募店舗の審査を行ったところ、地産地消推進会議において、改めて応募店舗の取組内容を確認することが求められたことから、認定に至らなかったが、会議の意見を伺いながら、早期の認定を目指す。

【執行残額について】

- ・事業未実施：新型コロナウイルス感染症に伴い食育実践セミナーが中止となったため 151
- ・入札差金：入札に伴い執行残が発生したため 82
委託料 (82)
- ・その他：報酬、報償費、旅費、消耗品費等の実績が当初の見込みを下回ったため 187

(単位：千円)

決算書 (P262～P263)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農産物販売促進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
12,354	10,457	8,656	233		120 (繰越金)	1,448
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
—	1,897		246		1,651	

【目的】

安全・安心な農産物を安定して供給できる生産地として、環境に優しい農業の推進と効果的な販売戦略を構築し、地域農業の持続的発展と活性化を推進する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

都市生協との連携事業 220

○令和3年度目標

- 産地の知名度向上と信頼性の確保に向け、都市生協組合員と生産者との顔の見える効果的な産地交流事業を実施し、当市の安全・安心な農産物の販売が確保される状態とする。

○実施内容、これまでの経過等

- 新型コロナウイルス感染症対策の観点から、例年実施していた農業体験の受入れ、酒仕込み体験などの産地交流と、当市の生産者等が東京へ出向いて行う交流事業については、都市生協及び関係団体と協議の上で、昨年度に引き続き全て中止した。
- 一方で、よしかわ杜氏の郷や生産者と都市生協組合員との「オンライン交流会」を6回開催し、地酒や農薬・化学肥料を使用せずに栽培した切り干し大根、棚田米など都市生協で取り扱っている当市の商品について、調理方法などの情報を交えながら参加者に紹介した。延べ143組の参加があり、顔の見える関係性を維持することができた。

○目標達成状況

- 産地交流は中止したが、現地を訪れなくとも産地の魅力を発信することができるオンライン交流会は産地交流に比べ気軽に参加できるほか、一度に大勢の参加者が生産者と交流することが可能であり、また、交流会後、参加者から一定数の上越産品の購入があったことなどから、産地交流や、購入意欲の向上に有効な手段であることが確認できた。



[オンライン交流会の様子]

決算書 (P262～P263)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農産物販売促進事業		

積極的な地場農産物の販売促進事業 9,361

○令和3年度目標

- ・農業者と食品関連事業者（飲食店、小売店）とのネットワークを強化し、農業者の生産意欲を向上させるとともに、食品関連事業者が生産者の思いや、こだわりについて知る機会をすることで、農産物の生産拡大と市域内流通の促進、定着を図る。
- ・農業者、えちご上越農業協同組合及び市が一体となり、首都圏の青果物市場関係者等に対し上越産農産物をPRすることで、大消費地である首都圏への流通を促進させる。
- ・コロナ禍によりネットショッピングの利用者が急増していることを踏まえ、引き続き上越産農産物のインターネット販売を推進し、インターネット販売の取組農家数を増加させる。

○実施内容、これまでの経過等

- ・以下の取組を実施する上越市農産物等販売促進実行委員会を支援

(1) 農場見学ツアーの開催

農業者と食品関連事業者の情報交換の場を提供するとともに、農業者が食品関連事業者の求める農産物を把握することで生産拡大や生産技術の向上への意欲を高めることができるよう、食品関連事業者を対象に農場見学ツアーを開催した。

(2) 都市型直売所への出店支援

首都圏等において、上越産農産物が首都圏等の消費者の目に直接触れる機会を作るとともに、自ら生産した農産物へのこだわりや想いを消費者に直接伝えることで、販売促進につながったほか、消費者ニーズに応じた生産ができるようにするため、農業者自らが都市型直売所に出店し、販売活動に要する経費の一部を支援した。

<じょうえつ農の魅力発信×農場見学ツアー>

日 程	参加者数			マッチング数※
	農業者	食品関連事業者	計	
令和3年7月13日(火)	8団体・13人	8団体・12人	16団体・25人	2件

※マッチング数は、農業者へのアンケート調査結果による。

<首都圏マルシェへの出店>

出店者数	販売品目
2件	米（コシヒカリ）、雪室棚田米コシヒカリ、野菜、農産加工品

<上越産農産物等試食宣伝会>

東京都中央卸売市場豊洲市場内で青果市場関係者を対象とした上越産農産物試食宣伝会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。

決算書 (P262～P263)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農産物販売促進事業		

・農産物等インターネット販売強化促進事業

上越産品に特化したインターネットショッピングモール「上越特産市場」の運営事業者に対し、支援した。

また、コロナ禍で利用が急増しているインターネット販売への農業者の参入を促進するため、マーケティングの専門家や先進的取組をしている農業者を講師にセミナーを開催した。

<上越市農産物等インターネット販売強化促進事業補助金>

補助対象経費	補助率	件数	補助額
インターネットショッピングモールへの入会金免除相当額	10/10	32件	1,600
商品説明の作成、写真撮影等の商品掲載に要する費用		75件	1,125
販売促進キャンペーン期間の市内農産物等の商品代金（送料含む）の割引相当額		—	3,357
広告宣伝費		—	2,500
計		—	8,582

<インターネットショッピングモール「上越特産市場」登録者数の推移>

区分	事業前登録者数	令和2年度	令和3年度
新規登録者数（うち農業者）	—	39件（19件）	32件（19件）
計	36件（15件）	75件（34件）	107件（53件）

<インターネット販売入門セミナー&個別相談会>

開催日：令和3年4月8日（木）午後1時30分から午後4時30分まで

会場：上越市市民プラザ 第1会議室

参加人数：35人（うち相談会参加人数2人）

○目標達成状況

- ・農業者と食品関連事業者とのマッチングを農場などの現地で行ったことで、相互のこだわりや思いを感じとることができ、複数の商談が成立するなど、市域内流通を促進することができた。
- ・コロナ禍の影響により、首都圏マルシェの出店数が2店舗にとどまったが、令和2年度に引き続き、上越産品に特化したインターネットショッピングモール「上越特産市場」において、「販売促進キャンペーン」を実施したことにより、首都圏を中心に全国の消費者から注文があり、販売拡大及び流通の促進が図られた。
- ・また、インターネット販売入門セミナー&個別相談会の実施や認定農業者へ「上越特産市場」の出店者募集チラシを配布して、周知したことにより、新たにインターネット販売に取り組む農業者を増やすことができた。



[農場見学ツアーの様子]



[首都圏直売所への出店]



[販売促進キャンペーンチラシ]

決算書 (P262～P263)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農産物販売促進事業		

中山間地域の強みを生かした農産物等販売促進事業 876

○令和3年度目標

- ・中山間地域で生産される農産物等の高付加価値化に向けた販売戦略構築の一助とするため、セミナーを開催し、農業者の意識醸成を図るとともに、実践を促す。
- ・補助金の交付により、中山間地域の農産物・農産加工品の販売などの営業活動を支援することで、農業者の自主的かつ継続的な販売活動を促し、所得の向上につなげる。

○実施内容、これまでの経過等

- ・中山間地域農業を維持していくため、農産物販売強化研修会を開催し、商品のブランド化支援に取り組んでいる専門家を講師に招き、商品のブランディングをテーマとした講演を行ったほか、中山間地域でのスマート農業の展開や可能性などの情報提供を行った。

<農産物販売強化研修会>

開催日：令和3年12月15日（水）午後2時から午後4時20分まで

会場：ユートピアくびき希望館 多目的ホール

参加人数：72人

参加者の声：商品に対する信念と、絶対に成功させるという情熱が大切だと思った。

自分たちが自分のブランドのファンでなければいけないという話が印象に残った。

- ・中山間地域の強みを生かした農産物等販売促進事業補助金（市単）

地域の強みを生かした農産物・農産加工品の有利販売に取り組む中山間地域の農業者等に対し、営業活動や販売促進活動に要する経費の一部を補助した。

地区名	事業主体	事業内容	補助率	補助額
安塚区	農業者団体	米の商談会への参加、ウェブサイトによる雪室棚田米の販売促進等を行った。	1/2	51
浦川原区	認定農業者	自社ホームページに、ECカート機能を構築し、インターネットショップを開設した。		160
大島区	認定農業者	販促パンフレットと専用封筒を作成し、新米注文書やパンフレットを発送した。		129
牧区	農業者団体	牧区の4農業法人が生産した「米食べくらべセット」の商品パッケージを作成した。		249
牧区	認定農業者	「雪太郎大根」を消費者に直接販売するため、チラシを作成し、新聞折込を行った。		35
中郷区	認定農業者	米を消費者に直接販売するため、チラシを作成し、新聞折込を行った。		19
計	6件			643

決算書 (P 262～P 263)	6 款 1 項 3 目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農産物販売促進事業		

○目標達成状況

- ・農産物販売強化研修会では、ブランディングの手法や考え方のほか、スマート農業の展開や可能性を伝えることにより、自主的な農産物等の販売活動や営農の省力化への意識の醸成、意欲の向上を図ることができた。
- ・農業者が自ら取り組む販売活動を支援することで、中山間地域の農産物等の付加価値向上や販路の拡大につなげることができた。



[セミナーの様子]



[雪室棚田米の販売促進オンライン商談会]

【事業の成果】

- ・都市生協組合員との産地交流はオンラインでの開催のみとなったが、顔の見える関係性を維持できたほか、オンラインの特性である気軽に参加できる利点を活用し、新たな参加者を獲得するなど、次年度につながる交流事業とすることができた。
- ・食品関連事業者の農場見学ツアーでは、生産現場において上越産農産物の魅力を体感してもらったことで、複数の商品のマッチングにつながり、市域内流通の促進が図られた。
- ・上越産品に特化したインターネットショッピングモール「上越特産市場」に新たに 32 事業者が出店した。このうち、19 事業者は農業者であり、今回の事業を契機にインターネット販売を促進することができた。また、上越産品販売促進キャンペーン開催期間の販売額は令和 2 年度と比較し、1.6 倍超と伸長し、上越産品全体の販売拡大、農業者等の所得向上と当市の農産物等の PR に寄与した。
- ・中山間地域「農産物販売強化研修会」では、スマート農業技術の導入で、生産コストの効率化や労力の軽減などが図られ、販路を開拓する時間の確保などが可能となることにより、販売力強化につながることを参加した農業者に認識してもらうことができた。また、農産物のブランディングの研修では、実際の農産物のブランド化の成功事例や、農業者自らが地域資源をいかした販売戦略を構築していく手法などを農業者へ伝えることにより、販売活動の重要性を意識づけることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・都市生協組合員との産地交流について、オンライン交流会が一般化され、消費者の選択肢が増えていることから、オンライン交流会に組合員が参加したくなるように企画内容を充実するとともに、現地での交流とあわせて、上越市や上越産品の魅力が伝わるように効果的な産地交流を行っていく。
- ・コロナ禍による社会変容などにより、インターネット販売の割合が伸びてきている中、農業者がインターネット販売や SNS を活用した情報の発信など、社会変化に対応できるよう支援する必要がある。
- ・農業者の所得向上につながるように、農業者が自ら取り組むマーケティング活動について、きめ細かな支援を行う必要がある。

決算書 (P 262～P 263)	6 款 1 項 3 目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農産物販売促進事業		

【執行残額について】

- ・事業未実施：新型コロナウイルス感染症対策により、当初予定していた事業を中止したため
246
- ・その他：運搬料の実績が当初の見込みを下回ったため 32
事業主体からの申請が当初の見込みを下回ったため 1,617
上越産農産物販売促進助成金（88）
都市農村交流事業補助金（754）
農産物等インターネット販売強化促進事業補助金（418）
中山間地域の強みをいかした農産物等販売促進事業補助金（357）
事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P262～P263)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農作物鳥獣被害防止対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,177	8,617		201			8,416
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	560				560	

【目的】

イノシシを中心とした農地・農作物被害が依然として深刻な状況にある中、上越市鳥獣被害防止対策協議会との連携のもと、鳥獣被害対策実施隊の強化を始め、侵入防止柵の設置など、被害の防止をより高める取組にあわせ、集落が主体的に行う「鳥獣が出没しにくい環境づくり」を進めるなど、総合的かつ効果的な被害防止対策を強力に推進する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

農作物鳥獣被害防止対策事業 8,215

○令和3年度目標

- ・鳥獣による農地・農作物被害の発生及び拡大の防止

○実施内容、これまでの経過等

- ・鳥獣被害対策実施隊と集落との連携による捕獲活動の体制強化 1,467

鳥獣被害対策実施隊の補助的業務を担う、地元集落からなる捕獲サポート隊を新たに設置し、集落との連携の下、農作物被害が発生するグリーンシーズンにおける捕獲活動を円滑に実施した。

＜鳥獣被害対策実施隊の活動実績＞

実施区分	集落数	箱わな 設置台数	イノシシ 捕獲頭数	サポート隊 隊員数
活動実績	34集落	41台	11頭	194人
新規	18集落	18台	2頭	89人
継続(2年目)	16集落	23台	9頭	105人

＜役割分担＞

区分	内容
鳥獣被害対策実施隊 (107人)	罠の設置場所の選定、罠の設置、定期的な見回り、止め刺し、捕獲中の運搬及び埋設作業
捕獲サポート隊 (194人)	地権者との調整、罠の設置補助、日々の見回り、埋設場所の提供、捕獲獣の運搬補助及び埋設作業補助

決算書 (P262～P263)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農作物鳥獣被害防止対策事業		

- ・上越市鳥獣被害防止対策協議会負担金 6,748

上越市鳥獣被害防止対策協議会と連携し、有害鳥獣の捕獲や電気柵の設置などを推進したほか、鳥獣が出没しにくい環境づくりを推進するため、「集落環境診断」を市内4集落に試行的に導入し、効果検証及び令和4年度以降の推進体制を構築した。

<有害鳥獣の捕獲及び水稻被害状況>

鳥獣の種類	区分	令和2年度	令和3年度	比較増減
イノシシ	捕獲数	862頭	297頭	△565頭
	被害面積	18.0ha	3.8ha	△14.2ha
ニホンジカ	捕獲数	84頭	33頭	△51頭
	被害面積	0.1ha	—	△0.1ha
小動物 (タヌキ、ハクビシン、アナグマ等)	捕獲数	239匹	148匹	△91匹
	被害面積	—	0.1ha	0.1ha
鳥類 (カラス)	捕獲数	75羽	70羽	△5羽
	被害面積	0.2ha	—	△0.2ha

<電気柵の整備>

整備の種類	令和2年度	令和3年度	比較増減
電気柵整備延長(累計)	779.9km	1,051.1km	271.2km
うち当年度分	166.6km	271.2km	104.6km
被害を受けた農地への新規設置(国庫定額補助)	130.8km	241.5km	110.7km
予防的な設置(協議会1/2補助)	35.8km	29.7km	△6.1km
既設電気柵の更新(協議会3/4補助)	48.3km	31.8km	△16.5km

<狩猟免許取得の補助>

免許の種類	令和2年度	令和3年度	比較増減
第二種銃猟免許※	—	—	—
わな猟免許	10人	7人	△3人
網猟免許	2人	2人	0人
合計	12人	9人	△3人

※第二種銃猟免許：空気銃を使用する猟法に関する免許

決算書 (P262～P263)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農作物鳥獣被害防止対策事業		

<集落環境診断の試行>

実施集落	実施期間	参加人数※ (累計)	主な対策
金谷区滝寺集落	6月10日～ 11月27日	83人	・電気柵設置方法の復習と情報共有 ・放置果樹の収穫徹底と伐採
浦川原区東俣集落	6月5日～ 11月28日	52人	・電気柵設置方法の情報共有 ・狩猟者の確保
吉川区河沢集落	6月3日～ 11月27日	81人	・猟友会と連携した捕獲強化 ・空き家、河川周辺の草刈りの実施
清里区青柳集落	6月19日～ 11月3日	97人	・電気柵の増設と延長 ・狩猟者の確保と作業協力

※ 6月：集落環境診断・予備診断及び勉強会、6月～7月：集落環境診断本診断、7月：合意形成ワークショップ、11月：効果検証までの工程に参加した累計人数（関係機関・団体等の職員を含む）



[現地調査]



[対策検討(ワークショップ)]

○目標達成状況

- ・年間を通じた有害鳥獣の捕獲や電気柵の設置を始め、鳥獣被害対策実施隊と集落との連携による捕獲活動を積極的に展開した結果、水稻被害発生面積は、令和2年度比14.4ha減の3.9haとなり、被害の発生及び拡大を抑制することができた。

有害鳥獣捕獲の担い手緊急確保事業費補助金（県1/2、市1/2） 402

○令和3年度目標

- ・今後の世代交代を見据え、有害鳥獣捕獲の担い手を安定的に確保する。

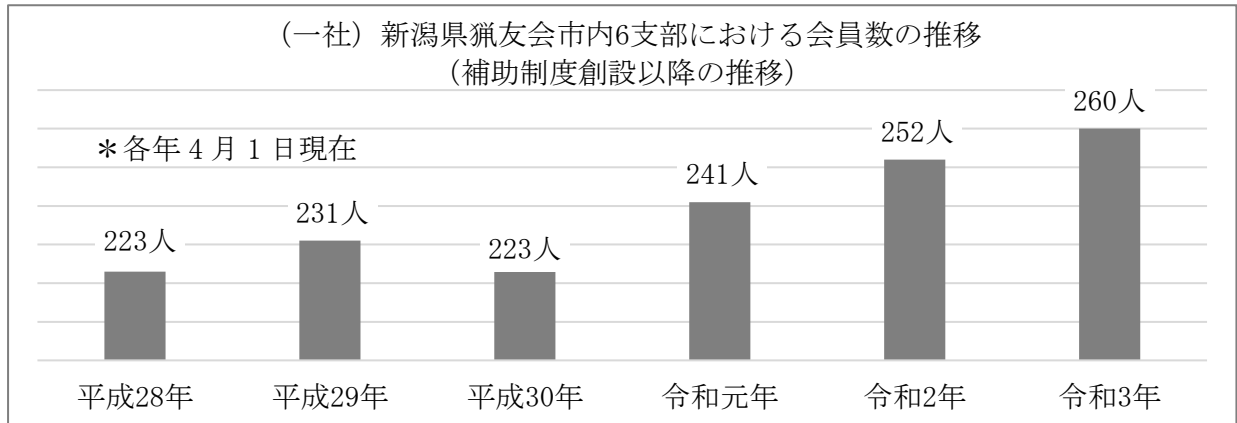
○実施内容、これまでの経過等

- ・有害鳥獣による農作物被害を防止し農作物の安定供給等を図るため、新規に第一種銃狩猟免許・猟銃の所持許可の新規取得者を支援し、有害鳥獣捕獲の担い手確保を図った。

区分	令和2年度	令和3年度	比較増減
第一種銃猟免許※	4人	11人	7人
補助金交付額	173千円	402千円	229千円

※第一種銃猟免許：装薬銃を使用する猟法に関する免許

決算書 (P 262～P 263)	6 款 1 項 3 目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	農作物鳥獣被害防止対策事業		



○目標達成状況

- ・支援制度チラシの配布や市ホームページへの掲載のほか、農産物販売強化研修会においてポスター掲示などの市民周知を展開した結果、支援制度の利用者は令和2年度比7人増となり、猟友会会員数の増加につなげることができた。

【事業の成果】

- ・集落からなる捕獲サポート隊を新たに設置し、鳥獣被害対策実施隊との捕獲体制を強化したことにより、農作物被害が発生するグリーンシーズンの捕獲活動を円滑に実施することができた。
- ・鳥獣が出没しにくい環境づくりの促進に向けて市内4集落で試行した「集落環境診断」の取組が、集落ぐるみの主体的な取組や意識醸成を図るために有効な手法であることを確認できたことにより、令和4年度からの本格実施につなげることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・捕獲の担い手である猟友会会員の世代交代を見据え、若年層を中心に新しい人材を確保・育成するとともに、新たにICTやドローン技術等を活用した「スマート捕獲」を導入することにより、猟友会の負担軽減と、より効率的な捕獲活動を推進する必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：事業規模が当初の見込みを下回ったため 560
鳥獣被害対策実施隊報酬及び費用弁償等 (282)
有害鳥獣捕獲の担い手緊急確保事業費補助金 (278)

(単位：千円)

決算書 (P262～P263)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農政課
事業名	埋設農薬適正処理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
348	348					348
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	0			0		

【目的】

埋設農薬処理計画に基づき、埋設農薬の適正な処理（掘削・無害化处理）を進めるとともに、埋設地点の地形変化などを定期的に監視していくことにより、市民生活の安全・安心の確保を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・埋設地点の定期巡回や水質調査を実施し、安全性を確認する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・モニタリング調査委託料 348
実施箇所：大字西谷内地内
実施内容：令和2年度掘削・無害化处理完了地点周辺の地下水等の試料採取・分析
- ・埋設地点の定期巡回：2回

○目標達成状況

- ・埋設地点の定期巡回や水質調査を適正に実施するとともに、令和2年度掘削・無害化处理完了地点周辺の水質について、モニタリング調査を実施し、安全性を確認した。

【事業の成果】

- ・埋設農薬処理計画に基づき、掘削・無害化处理完了後の処理地点周辺の水質調査を行い、環境省が示す農薬環境管理指針の数値を全て下回ったことを確認した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・未処理である17か所のうち2か所については、令和3年度に建物が撤去されたことにより、環境調査が可能となったため、埋設農薬処理計画に基づき、国及び県と調整を図りながら、着実な処理を進める。
- ・未処理の地点について、現場確認や水質調査を引き続き実施していく。

(単位：千円)

決算書 (P262～P265)	6款1項4目 畜産業費	所管課等	農政課
事業名	畜産振興対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
12,984	12,293		4,452			7,841
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	691				691	

【目的】

畜産物の流通や良質な肉用子牛の生産を支援し、畜産農家の経営安定を図るとともに、環境及び家畜伝染病対策に配慮した畜産経営の推進を図る。

また、地場産牛として浸透が進んでいるくびき牛の生産基盤の維持・強化を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

上越家畜診療所運営負担金 4,800

○令和3年度目標

- ・上越地域の公共的な家畜診療所の運営を健全化し、家畜の健全育成と畜産農家の経営安定を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・家畜の診療業務や疾病予防を行う新潟県農業共済組合上越家畜診療所の運営を支援し、畜産農家の経営安定を図った。

○目標達成状況

- ・上越地域の公共的な家畜診療所の運営を支援したことで、家畜の健全育成と畜産農家の経営安定に寄与することができた。

家畜衛生対策事業費補助金(市単) 279

○令和3年度目標

- ・衛生的な生産環境の維持、家畜伝染病の予防対策の推進により、安全・安心な畜産物の生産体制を整える。

○実施内容、これまでの経過等

- ・伝染病予防注射や畜舎消毒等の衛生対策に要する経費を支援し、家畜伝染病の発生を未然に防止するとともに、衛生的な生産環境の維持・強化と農家の環境保全意識の向上を図った。

決算書 (P262～P265)	6款1項4目 畜産業費	所管課等	農政課
事業名	畜産振興対策事業		

(1) 予防注射対策事業

豚熱（CSF）ワクチンや牛呼吸器病5種混合ワクチンなどの伝染病予防注射の実施に要する経費を支援した。

事業主体：えちご上越農業協同組合

補助率：15/100以内

実績：予防注射補助頭数 牛349頭、豚1,150頭

(2) 畜産環境衛生対策事業

悪臭、ハエ等の発生防止のために行う畜舎消毒に要する経費を支援した。

事業主体：新潟県農業共済組合上越支所

補助率：3/10以内

実績：畜舎消毒実施戸数 19戸

○目標達成状況

- ・家畜伝染病の発生を未然に防止するため、伝染病予防注射及び畜舎消毒等の衛生対策に要する経費を支援したことで、畜産農家の環境保全に対する意識の向上が図られたとともに安心・安全な畜産物の生産体制を維持することができた。

畜産物生産流通対策事業費補助金（市単） 158

○令和3年度目標

- ・流通経費の助成を通じて畜産経営の維持・強化を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・肉用牛・豚の出荷輸送や放牧場への運搬輸送に要する経費を支援し、畜産物の安定した流通を図った。

事業主体：えちご上越農業協同組合

補助額：放牧牛及び肉用牛 1,000円/頭

肉用豚 100円/頭

実績：出荷輸送補助

畜種	令和2年度	令和3年度	増減
肉用牛	127頭	158頭	31頭
肉用豚	22頭	2頭	△20頭
合計	149頭	160頭	11頭

笹ヶ峰放牧場輸送補助

畜種	令和2年度	令和3年度	増減
肉用牛	0頭	6頭	6頭
乳用牛	39頭	36頭	△3頭
合計	39頭	42頭	3頭

○目標達成状況

- ・出荷輸送や放牧場への運搬輸送に要する経費を支援したことで、肉用牛の出荷頭数や笹ヶ峰放牧場への上牧頭数が増加し、畜産経営を維持することができた。

決算書 (P262～P265)	6款1項4目 畜産業費	所管課等	農政課
事業名	畜産振興対策事業		

肉用子牛振興対策事業費補助金（市単） 1,841

○令和3年度目標

- ・優良子牛の生産に対する取組を支援し、生産基盤の強化を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・人工授精及び受精卵移植の利用を推進し、優良な肉用子牛の生産拡大を図るとともに、肉用子牛購入経費を支援し、くびき牛の生産基盤の維持・強化を図った。

(1) 人工授精及び受精卵移植に要する経費を支援

事業主体：えちご上越農業協同組合

補助額：人工授精に係る経費 5,500 円/頭

受精卵移植に係る経費 25,000 円/回

実績：

事業内容	令和2年度	令和3年度	増減
人工授精	47頭	62頭	15頭
受精卵移植	18回	16回	△2回

(2) 肉用子牛導入に要する経費の一部を支援

事業主体：えちご上越農業協同組合

補助額：5,000 円/頭

実績：

事業内容	令和2年度	令和3年度	増減
肥育用子牛の導入	217頭	220頭	3頭

○目標達成状況

- ・人工授精及び受精卵移植の利用を推進したことで、優良な肉用子牛の生産拡大につながり、畜産農家の所得向上、生産基盤を強化することができた。

畜産振興促進事業費補助金（県単） 4,452

○令和3年度目標

- ・畜産物の生産拡大の取組を支援し、畜産経営体の育成及び産地の基盤強化を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・家畜管理舎の整備に要する経費を支援し、経営基盤の強化を図った。



[家畜管理舎の様子]

地区	事業主体	事業内容	補助率
頸城区	農業法人	軽量鉄骨ハウス型 家畜管理舎（16頭飼育）	5/10

○目標達成状況

- ・施設整備の支援により、畜産経営体の生産基盤の強化を図ることができた。

決算書 (P262～P265)	6款1項4目 畜産業費	所管課等	農政課
事業名	畜産振興対策事業		

笹ヶ峰放牧場種雄牛導入事業費補助金（市単） 647

○令和3年度目標

- ・笹ヶ峰放牧場への優良種雄牛の導入を支援し、放牧場の経営安定と畜産農家の所得向上と生産基盤の強化を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・優良種雄牛の導入を支援し、優良血統子牛の生産による所得の向上、生産基盤の強化を図った。

事業主体：笹ヶ峰放牧場利用組合

補助額：5/10

実績：優良種雄牛購入1頭



[導入した種雄牛<笹姫>]

○目標達成状況

- ・笹ヶ峰放牧場への優良種雄牛導入により、今後の種付け希望牛の上牧頭数と放牧料収入の増加に向けて、基盤強化を図ることができた。

[参考]市内の畜産農家の状況

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
乳用牛	飼育戸数	14	14	10	10	9
	総頭数	266	246	205	172	177
	うち経産牛	192	155	141	121	119
肉用牛	飼育戸数	13	12	11	10	10
	総頭数	461	419	479	465	509
	うち繁殖牛	88	103	112	99	160
	うち肥育牛	373	316	367	366	349
豚	飼育戸数	5	4	4	3	2
	総頭数	2,960	3,542	3,108	2,480	1,803
	うち種豚	231	189	117	118	102
	うち肥育豚 (子豚も含む)	2,729	3,353	2,991	2,362	1,701
採卵鶏	飼育戸数	2	2	2	2	2
	総羽数	343,468	380,891	357,660	374,773	370,488

【事業の成果】

- ・県外において豚熱（CSF）の感染が確認される中、伝染病予防注射と畜舎消毒に要する経費を支援することにより、衛生的な生産環境の維持と家畜伝染病の発生を防止した。
- ・優良子牛生産への支援や流通経費を助成することにより、肉用牛・肉用豚合計160頭の出荷や肉用牛62頭の子牛生産を支援したほか、笹ヶ峰放牧場への優良種雄牛の導入を支援し、生産基盤の強化を図るなど畜産振興に寄与した。

決算書 (P262～P265)	6款1項4目 畜産業費	所管課等	農政課
事業名	畜産振興対策事業		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・市内の飼育農家と飼育頭数がともに減少傾向にある中、衛生的な生産環境の維持と家畜伝染病の発生予防対策を推進するとともに、畜産経営の維持・強化に向けて良質な肉用子牛の生産や流通経費の助成などの支援を継続していく必要がある。
- ・地域の畜産業の更なる発展を目的として、令和3年12月に設立した「上越地域畜産クラスター協議会」と連携し、畜産農家が抱える課題等の整理を行いながら畜産振興に向けた様々な取組を計画的に実施していく必要がある。
- ・飼料価格が高騰している現状を踏まえ、厳しい状況下にある農家の不安を軽減し、安定した経営の維持が図られるよう国や県の対策や動向も注視しながら、対策を検討していく必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：補助金の申請が当初の見込みを下回ったため 690
事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

(単位：千円)

決算書 (P264～P265)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農業用施設等維持管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,067,392	1,059,082	1,900	673,960	94,900	7,502 (財産収入、諸収入)	280,820
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	8,310	1,363	106	232	6,609	

【目的】

市が管理する農業用施設の適切な維持管理を行うとともに、地域が共同で行う農地、農業用水路等の保全管理活動や農業用施設の長寿命化活動に対する支援を行うことにより、地域資源の適切な保全管理を推進する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・農業農村整備支援用原材料支給、機械借上支援制度及び多面的機能支払補助金により農業用施設の改修や維持管理に係る地域の共同作業を支援し、地域資源の適切な保全管理を推進する。
- ・多面的機能支払補助金において、活動組織の広域化推進による持続可能な体制構築を目指すとともに、未取組地域への働きかけ等により取組面積を拡大し、多面的機能の発揮の促進を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・農業農村整備支援用原材料支給、機械借上支援制度 3,428

区分	内容	令和2年度		令和3年度	
		件数	数量	件数	数量
原材料支給	砂利	5件	34 m ³	5件	38 m ³
	生コンクリート	3件	44 m ³	4件	41 m ³
	コンクリート二次製品、管類、木杭ほか	7件	1式	12件	1式
機械借上支援	農業用施設の整備	10件	-	15件	-
合計		25件	-	36件	-

- ・湛水防除維持管理委託 3,876

区分	内容	令和2年度	令和3年度
委託料	重川地区湛水防除維持管理委託	2,034	2,049
	新道地区湛水防除維持管理委託	1,824	1,827
合計		3,858	3,876

決算書 (P264～P265)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農業用施設等維持管理費		

・農道橋点検、老朽化対策 121,993

区分	内容	令和3年度
委託料	跨高速道路橋点検業務委託 N=7橋	16,535
	農道橋（吉浦橋）はく落防止対策工事委託	93,600
工事請負費	農道橋（吉浦橋）床版防水・舗装改良工事	11,858
合計		121,993

・重川排水機場支障物件移転補償工事（債務負担行為） 7,194

区分	内容	令和3年度
工事請負費	重川排水機場外構工事	4,334
	重川排水機場電気工事	2,860
合計		7,194

・多面的機能支払補助金 892,953

区分	令和2年度			令和3年度			
	協定数	対象農地面積	補助金	協定数	対象農地面積	補助金	
農地維持 支払	合併前 上越市	88	3,700.01ha	110,665	88	3,729.21ha	111,541
	安塚区	6	357.76ha	10,728	6	363.56ha	10,902
	浦川原区	19	226.15ha	6,771	18	219.75ha	6,579
	大島区	15	240.03ha	7,201	15	240.03ha	7,201
	牧区	7	363.48ha	10,904	7	369.00ha	11,070
	柿崎区	20	1,015.25ha	30,345	20	1,019.38ha	30,467
	大湊区	1	469.46ha	14,084	1	469.46ha	14,084
	頸城区	6	1,638.78ha	48,815	6	1,638.77ha	48,815
	吉川区	36	1,168.36ha	34,867	32	1,169.69ha	34,907
	中郷区	10	295.20ha	8,806	10	295.61ha	8,818
	板倉区	23	797.08ha	23,861	23	797.09ha	23,862
	清里区	11	561.25ha	16,821	11	575.30ha	17,242
	三和区	31	1,408.49ha	42,152	30	1,408.55ha	42,154
	名立区	1	113.99ha	3,420	1	114.20ha	3,426
小計	274	12,355.29ha	369,440	268	12,409.60ha	371,068	
資源向上 支払 (共同)	合併前 上越市	74	3,104.70ha	56,089	74	3,138.89ha	57,456
	安塚区	5	348.25ha	6,021	5	354.05ha	6,126
	浦川原区	12	165.00ha	2,909	12	165.00ha	2,909
	大島区	12	201.86ha	3,468	12	201.86ha	3,369
	牧区	7	257.93ha	4,592	7	257.93ha	4,592
	柿崎区	17	982.70ha	17,248	17	983.26ha	17,256
	大湊区	1	469.46ha	8,450	1	469.46ha	8,450

決算書 (P264～P265)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農業用施設等維持管理費		

区 分	令和2年度			令和3年度			
	協定数	対象農地面積	補助金	協定数	対象農地面積	補助金	
資源向上 支 払 (共同)	頸城区	6	1,638.78ha	37,880	6	1,638.77ha	37,880
	吉川区	36	1,168.36ha	22,593	31	1,169.69ha	22,642
	中郷区	10	295.20ha	5,829	10	295.61ha	5,837
	板倉区	20	750.01ha	14,156	20	750.02ha	14,462
	清里	11	561.25ha	10,981	11	575.30ha	11,402
	三和区	24	1,190.63ha	21,418	23	1,190.69ha	22,483
	名立区	1	113.99ha	2,394	1	114.20ha	2,398
	小 計	236	11,248.12ha	214,028	230	11,304.73ha	217,262
資源向上 支 払 (長寿命化)	合併前 上越市	36	1,512.73ha	58,794	36	1,550.45ha	61,329
	安塚区	4	253.66ha	10,203	4	254.85ha	10,424
	浦川原区	5	76.18ha	3,054	4	64.43ha	2,625
	大島区	3	65.87ha	2,652	3	65.87ha	2,697
	牧 区	7	133.67ha	5,382	5	92.06ha	3,770
	柿崎区	16	948.23ha	36,720	16	948.79ha	37,360
	大湊区	1	456.28ha	17,747	1	456.28ha	18,172
	頸城区	6	1,638.78ha	65,708	6	1,638.77ha	66,999
	吉川区	31	1,015.42ha	40,609	27	1,013.92ha	41,211
	中郷区	9	185.43ha	7,357	10	295.61ha	9,359
	板倉区	15	472.55ha	17,620	16	480.25ha	18,234
	清里区	9	507.80ha	19,048	6	414.26ha	15,367
	三和区	6	290.51ha	10,708	5	326.14ha	12,400
	名立区	1	113.99ha	4,590	1	114.20ha	4,676
小 計	149	7,671.10ha	300,192	140	7,715.88ha	304,623	
合 計			883,660			892,953	

○目標達成状況

- ・農業農村整備支援用原材料支給、機械借上支援制度及び多面的機能支払補助金により、農道、水路等の維持管理に係る地域の共同作業を支援し、地域資源の適切な保全管理を推進することができた。
- ・多面的機能支払補助金については、地域に対し広域化の啓発や制度説明を行ったところ、2組織が合併して広域化が図られたほか、3集落が新規に参入するなど、取組面積の拡大が図られた。

【事業の成果】

- ・農業用施設の維持管理に係る地域の共同作業を支援することで、地域資源の適切な保全管理を推進し、農地が持つ多面的機能を発揮することができた。
- ・多面的機能支払補助金については、広域化の必要性が地域に理解されたことにより、広域化が進んだ。

決算書 (P264～P265)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	農業用施設等維持管理費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・一部の集落では、担い手への集積が進む中で、農地への関心が薄れ、地域資源の適切な保全管理が困難となってきたため、継続的な共同作業が実施できるよう今後も活動組織の広域化を進め、地域資源の適切な保全管理を推進する必要がある。

【執行残額について】

- ・事業費節減：委託料において交通規制を他工事とあわせて実施したため 1,363
- ・事業未実施：原材料費において申請者の事情により事業の実施を見送ったため 106
- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 232
工事請負費 (232)
- ・その他：委託料、工事請負費、負担金補助及び交付金等の実績が当初の見込みを下回ったため 6,592
事業実施に伴い端数残額が発生したため 17

(単位：千円)

決算書 (P264～P267)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
988,032	550,469		78,231	271,300	138,081 (分担金、繰越金、 諸収入)	62,857
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
434,161	3,402		261		3,141	

【目的】

農地、農業水利施設等の農業生産基盤の整備を行い、農業の持続的発展と農地保全を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・農業の生産性向上と農業構造の改善を促進するため、農地の大区画化や汎用化、老朽化したため池等の農業水利施設の補修更新を行うほか、中山間地域における農地及び農業用施設の耕作条件の改善を図る整備を推進する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・委託料、工事請負費

項目	内訳	事業費
維持管理適正化事業	排水機場電気設備更新工事	3,281
県単農業農村整備事業	農道整備工事	7,744
農業水路等長寿命化・防災減災事業	ため池改修工事	10,531
農地耕作条件改善事業	ポンプ取替修繕工事	8,271
農村地域防災減災事業	ため池廃止測量業務委託・実施設計業務委託 ため池ハザードマップ作成業務委託 ため池廃止工事	54,125
合計		83,952

決算書 (P264～P267)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

・負担金補助及び交付金

項目	内 訳	事業費	市負担金
県営土地改良事業負担金			
県営経営体育成基盤整備事業（大区画ほ場整備）	22 地区（合併前上越市、大潟区、吉川区、板倉区、清里区、三和区）	2,107,093	197,880
県営湛水防除事業	1 地区（大潟区）	1,000	30
県営ため池等整備事業	15 地区（合併前上越市、浦川原区、牧区、吉川区、中郷区、板倉区、清里区、三和区）	300,337	32,848
県営農地環境整備事業	3 地区（安塚区、大島区、吉川区）	109,000	11,381
県営基幹水利施設ストックマネジメント事業	2 地区（大潟区、頸城区、柿崎区、吉川区）	750,282	187,571
県営かんがい排水事業	2 地区（浦川原区、頸城区、三和区）	21,500	2,150
県営中山間地域農業農村総合整備事業	2 地区（安塚区、浦川原区、大島区、牧区）	1,200	600
合 計		3,290,412	432,460
その他負担金			
土地改良関係団体、各種協議会等負担金	上越農地協議会 新潟県土地改良事業団体連合会 関川用水地区推進協議会 新潟県経営体育成農地集積促進協議会	-	1,700
維持管理適正化事業	上島排水機場（合併前上越市）ほか	-	1,368
合 計		-	3,068
補助金			
維持管理適正化事業	10 地区（合併前上越市、頸城区、三和区）	-	5,703
団体営基盤整備促進事業	7 地区（合併前上越市、吉川区、清里区）	-	1,519
農業水路等長寿命化・防災減災事業	3 地区（合併前上越市、三和区）	-	3,263
合 計		-	10,485

決算書 (P264～P267)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

・ 県営経営体育成基盤整備事業（大区画ほ場整備）の内訳

地区名	事業期間	全体計画概要	令和3年度まで	進捗率 (事業費 ^レ -%)	市負担金
三和中部 第1	H10～R3	区画整理 A=209.7ha 暗渠排水 A=214.2ha 集落道路 L=764.0m 灌漑排水 L=5,728m	区画整理 A=209.7ha 暗渠排水 A=214.2ha 集落道路 L=764.0m 灌漑排水 L=5,728m	100.0	11,208
中江北部 第2	H11～R3	区画整理 A=548.2ha 暗渠排水 A=536.1ha	区画整理 A=548.2ha 暗渠排水 A=536.1ha	100.0	5,600
木島	H27～R4	区画整理 A=97.5ha 暗渠排水 A=34.5ha	区画整理 A=95.8ha 暗渠排水 A=24.3ha	99.7	9,244
高野	H29～R4	区画整理 A=81.4ha 暗渠排水 A=81.2ha	区画整理 A=78.3ha 暗渠排水 A=37.9ha	96.1	17,600
今池	H30～R5	区画整理 A=40.2ha 暗渠排水 A=15.2ha	区画整理 A=33.5ha 暗渠排水 A= 8.6ha	89.9	12,000
広島	H30～R5	区画整理 A=52.2ha 暗渠排水 A=34.0ha	区画整理 A=51.9ha	89.8	224
岡野町	H30～R5	区画整理 A=43.3ha 暗渠排水 A=43.3ha	区画整理 A=43.3ha 暗渠排水 A=24.2ha	86.1	12,750
中江有田	R1～R6	区画整理 A=54.1ha 暗渠排水 A=54.0ha	区画整理 A=21.0ha	71.0	38,980
石沢	R2～R7	区画整理 A=45.1ha 暗渠排水 A=23.2ha	区画整理 A= 7.0ha	23.6	16,300
東潟	R2～R7	区画整理 A=35.0ha 暗渠排水 A=35.0ha	測量・実施設計 区画整理 N=1式	12.3	5,655
原之町	R2～R8	区画整理 A=31.7ha 暗渠排水 A=31.7ha	測量・実施設計 区画整理 N=1式	14.7	9,100
島田	R2～R8	区画整理 A=71.6ha 暗渠排水 A=55.0ha	区画整理 A= 3.8ha	16.9	17,500
和田北部	R2～R8	区画整理 A=25.6ha 暗渠排水 A=23.3ha	測量・実施設計	11.6	10,000
青野	R3～R11	区画整理 A=22.3ha	測量・実施設計	14.0	9,800
三郷	R3～R11	区画整理 A=21.3ha 暗渠排水 A=21.3ha	測量・実施設計	16.4	18,588
合 計					194,549

決算書 (P264～P267)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

・ 県営経営体育成基盤整備事業（大区画ほ場整備 調査計画）の内訳

地区名	採択予定	実施内容	市負担金
岩 木	R5～	測量・調査・概略設計等	116
北 野	R5～	測量・調査・概略設計等	275
高士東部	R5～	測量・調査・概略設計等	120
下池部	R5～	測量・調査・概略設計等	420
高士南部	R5～	測量・調査・概略設計等	610
清里第1	R5～	測量・調査・概略設計等	1,190
飯	R6～	測量・調査・概略設計等	600
合 計			3,331

・ 県営湛水防除事業の内訳

地区名	事業期間	全体計画概要	令和3年度まで	進捗率 (事業費 ^へ -ズ %)	市負担金
新堀川	R2～R4	排水路工 L=71.3m	測量・実施設計	8.5	30

・ 県営ため池等整備事業の内訳

地区名	事業期間	全体計画概要	令和3年度まで	進捗率 (事業費 ^へ -ズ %)	市負担金
東吉尾	H30～R3	ため池工 1か所	ため池工 1か所	100.0	328
曲り戸	H30～R3	頭首工ゲート 1か所	頭首工ゲート 1か所	100.0	104
市之瀬	H30～R4	頭首工ゲート 1か所	頭首工ゲート 1か所	91.3	5,920
飯 室	H30～R4	ため池工 2か所	ため池工 2か所	98.3	1,498
宇 山	H30～R5	ため池工 1か所	ため池工 1か所	42.8	9,089
三 和	H30～R5	ため池工 4か所	測量・実施設計	9.6	1,078
大久保	R2～R4	ため池工 1か所	測量・実施設計	8.8	1,008
坊ヶ池	R2～R4	ため池工 1か所	測量・実施設計	7.6	1,023
棚 広	R2～R5	用水路工 L=248m	用水路工 L=150m	33.8	3,746
蟹 沢	R2～R6	ため池工 1か所	測量・実施設計	3.8	956
泉溜池	R2～R6	ため池工 1か所	測量・実施設計	1.3	671
下馬場池	R2～R6	ため池工 1か所	測量・実施設計	6.2	790

決算書 (P264～P267)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

地区名	事業期間	全体計画概要	令和3年度まで	進捗率 (事業費へ入 %)	市負担金
蜂ヶ嶺	R2～R6	ため池工 1か所	測量・実施設計	1.7	707
古川	R2～R6	排水路工 L=1,063m	測量・実施設計	3.3	1,635
針	R2～R7	調整池 3か所 排水路工 L=675m	測量・実施設計	5.8	4,295
合 計					32,848

・県営農地環境整備事業の内訳

地区名	事業期間	全体計画概要	令和3年度まで	進捗率 (事業費へ入 %)	市負担金
上達	H26～R4	区画整理 A=1.2ha 用排水施設 L=1,793m 農道 L=1,188m	区画整理 A=1.1ha 用排水施設 L=1,660m 農道 L=1,188m	87.3	1,000
樽田	H27～R4	区画整理 A=7.8ha 用排水施設 N=2か所 農道 L=757m	区画整理 A=5.9ha 用排水施設 N=2か所 農道 L=712m	98.9	1,375
道之下	H29～R4	区画整理 A=16.6ha 暗渠排水 A=16.4ha 農地保全 A=0.3ha	区画整理 A=16.4ha 暗渠排水 A=6.2ha 農地保全 A=0.3ha	85.8	9,006
合 計					11,381

・県営基幹水利施設ストックマネジメント事業の内訳

地区名	事業期間	全体計画概要	令和3年度まで	進捗率 (事業費へ入 %)	市負担金
潟川2期	H24～R7	排水路工 L=7,133.0m	排水路工 L=4,382.7m	77.2	103,143
赤川	H27～R5	排水路工 L=2,660.0m	排水路工 L=1,102.2m	58.1	84,428
合 計					187,571

・県営かんがい排水事業の内訳

地区名	事業期間	全体計画概要	令和3年度まで	進捗率 (事業費へ入 %)	市負担金
頸城	R3～R8	用水施設 1式 用水路工 1式 排水路工 1式	測量・実施設計	1.6	2,092

決算書 (P264～P267)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	土地改良事業		

- ・ 県営かんがい排水事業（調査計画）の内訳（令和3年度国補正採択）

地区名	事業期間	実施内容	市負担金
多能	R3～R9	概略設計	58

- ・ 県営中山間地域農業農村総合整備事業（調査計画）の内訳（令和3年度国補正採択）

地区名	事業期間	実施内容	市負担金
牧	R3～R9	概略設計	300
東頸北部	R3～R11	概略設計	300
合 計			600

○目標達成状況

- ・ ほ場の大区画化や老朽化した水利施設を更新したことにより、農業の生産性の向上、担い手への農地集積が図られた。
- ・ 中山間地域においては、県営事業である農地環境整備事業を活用し、農地及び農業用施設整備の促進が図られた。

【事業の成果】

- ・ 県営経営体育成基盤整備事業において、新たに2地区が事業採択され、計15地区ではほ場の大区画化や汎用化など基盤整備を推進し、三和中部第1、中江北部第2地区の事業が完了した。
- ・ 県営ため池等整備事業では、2地区が完了したことにより、農業用施設の安全性及び機能性の向上が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・ 耕作環境の改善と耕作放棄地の発生防止、担い手への農地集積を図るため、県及び土地改良区と連携し、引き続き事業を推進する。
- ・ ほ場整備の新規地区については、農業経営の多角化を図るため園芸作物の導入を進めており、園芸作物の選定に当たっては、農業者、えちご上越農業協同組合、県、土地改良区等と連携し取り組む必要がある。
- ・ 防災重点農業用ため池については、引き続き耐震・豪雨対策に係る整備を行うとともに、ハザードマップの作成などのソフト対策についても推進する。

【執行残額について】

- ・ 事業未実施：申請者が事業の一部を次年度に見送ったことに伴い、補助金を減額したため
261
- ・ そ の 他：県営事業等の事業費確定に伴い負担金及び換地清算金が減額となったため
2,308
委託料、工事請負費、旅費等の実績が当初の見込みを下回ったため 819
事業実施に伴い端数残額が発生したため 14

(単位：千円)

決算書 (P266～P267)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	清里活性化交流施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,772	2,499				176 (使用料、謝収)	2,323
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	273				273	

【目的】

地域農業の振興やコミュニティ活動を推進する施設として、農業団体及び地域住民等が快適に利用できるよう、適切な管理と効率的な運営を行う。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・清里活性化交流施設の維持管理及び運営

所在地	清里区武士407番地1
設置	平成14年度
構造	鉄筋コンクリート造2階建
面積	1,393.78 m ²
管理	直営(業務委託)

○施設の管理実績

- ・施設利用者数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計画	実績
利用者数	7,544人	2,853人	-	3,935人

決算書 (P266～P267)	6款1項5目 農地費	所管課等	農林水産整備課
事業名	清里活性化交流施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	289	382	354	176
	その他	0	0	1	0
	合計	289	382	355	176
②支出	施設維持管理費	3,910	2,720	2,729	2,456
	うち委託料	1,921	1,885	1,677	1,490
	その他	27	26	43	43
	合計	3,937	2,746	2,772	2,499
③公費投入額 (②-①)		3,648	2,364	2,417	2,323
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		484	829	-	590

【事業の成果】

- ・スポーツやサークル活動、各種団体の会議など、若者から高齢者まで幅広い世代に利用され、地域の活性化に寄与し住民の連帯感を醸成する場となった。
- ・施設利用者数については、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2年度と比較して、1,082人増の3,935人となった。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・施設利用者の増加に向け、引き続き市ホームページでの周知とあわせ、清里区内広報紙等に施設紹介の記事を掲載し、利用促進に努める。

【執行残額について】

- ・そ の 他：光熱水費、委託料等の実績が当初の見込みを下回ったため 271
事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P268～P269)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業総務費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,433	5,778					5,778
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	655		171		484	

【目的】

中山間地域での生業の創出や定住を図るため、森林の魅力や森林資源活用の可能性を認知してもらう取組を行う。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

森林空間を活用した、中山間地域の魅力再発見事業 62

○令和3年度目標

- ・市内外への情報発信を通じて、中山間地域との交流を図りながら、森林の現状及び資源を活用する楽しさについて認知してもらう。

○実施内容、これまでの経過等

・里山シンポジウムの開催

森林の持つ役割や魅力などを認知してもらうため、市内で森林資源を活用して取組を行っている団体の事例発表などを行った。

開催日：令和3年10月23日(土)

会場：直江津ショッピングセンター OpenMUJI

参加者：24人

・薪づくり体験、たき火イベントの開催

森林資源を活用する楽しさを認知してもらうため、薪割り体験やたき火体験などを行った。

開催日：令和3年10月24日(日)

会場：大島区板山地内(小海の池周辺)

参加者：33人

決算書 (P268～P269)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業総務費		

○目標達成状況

- ・「里山シンポジウム」では、市内で森林資源を活用した取組を行っている団体の事例発表や、里山での活動状況を紹介するパネルを展示し、来場者に森林の持つ役割や魅力などを紹介することができた。
- ・「薪づくり体験、たき火イベント」では、実際にチェーンソーで原木を切ったり、薪割り機で薪を作る体験などを行い、森林資源を活用する楽しさを伝えることができた。



[里山シンポジウムの様子]



[薪づくり体験、たき火イベントの様子]

【事業の成果】

- ・里山シンポジウムの参加者からは、「里山から様々な価値を見出している方がいることに感銘を受けた」、「里山の環境を大切にしていきたい」などの声が聞かれ、森林の持つ役割や魅力などを感じてもらうことができた。
- ・薪づくり体験、たき火イベントの参加者からは、「普段では体験できない薪割りができてよかった」、「次は森に入って伐採をしてみたい」などの声が聞かれ、森林資源を活用する楽しさを感じてもらうことができた。
- ・当日は薪で火を起こし、釜戸で炊いたごはんやなめこ汁を振る舞い、来場者から「自然の中で食べるごはんとなめこ汁は美味しかった」など大変好評だった。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、引き続き森林の持つ役割や魅力、資源の活用方法など関心を持ってもらえるよう取組を進めていく。

【執行残額について】

- ・事業未実施：新型コロナウイルス感染症対策の観点から会議が中止となったため 171
- ・その他：消耗品費、旅費、使用料及び賃借料等の実績が当初の見込みを下回ったため 479
- 事業実施に伴い端数残額が発生したため 5

(単位：千円)

決算書 (P268～P269)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
18,021	17,696				106 (繰入)	17,590
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	325		243		82	

【目的】

地域の豊かな自然に触れる憩いの場を提供するとともに、森林を守り、育てる体験等を通じて自然環境に関する意識の高揚が図られるよう、施設の適切な管理を行う。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

くわどり市民の森 14,851

○実施内容、これまでの経過等

- ・くわどり市民の森の維持管理及び運営

所在地	大字西谷内488番2
設置	平成14年度
施設	管理棟、分区林、遊歩道ほか
面積	272.0ha
管理	指定管理

- ・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	特定非営利活動法人かみえちご山里ファン倶楽部
指定の期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日

○施設の管理実績

- ・利用者数

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計画	実績
利用者数	5,219人	4,160人	-	5,557人

決算書 (P268～P269)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	くわどり市民の森 管理運営委託料	14,156	14,156	14,156	14,156
	管理運営委託料 以外の経費	1,163	622	766	695
	合計	15,319	14,778	14,922	14,851
③公費投入額 (②-①)		15,319	14,778	14,922	14,851
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		2,935	3,552	-	2,672

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	243	266	240	303
	くわどり市民の森 管理運営委託料	14,156	14,156	14,156	14,156
	その他	205	165	200	164
	合計	14,604	14,587	14,596	14,623
②支出		14,602	14,581	14,596	14,621
差引 (①-②)		2	6	0	2

光ヶ原わさび田の森、光ヶ原みずばしょうの森 292

○実施内容、これまでの経過等

・光ヶ原わさび田の森、光ヶ原みずばしょうの森の維持管理及び運営

所在地	板倉区関田 4049 番地 (光ヶ原わさび田の森) 板倉区筒方 3251 番地 (光ヶ原みずばしょうの森)
設置	平成 13 年度
施設	木道、遊歩道ほか
面積	光ヶ原わさび田の森 5.9ha 光ヶ原みずばしょうの森 9.7ha
管理	直営 (業務委託)

※令和3年度をもって供用廃止

決算書 (P268～P269)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

二貫寺の森 1,775

○実施内容、これまでの経過等

・二貫寺の森の維持管理及び運営

所在地	大字杉野袋 102 番地 1
設置	平成 23 年度
施設	管理棟、遊歩道ほか
面積	28.0ha
管理	直営（業務委託）

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
			計 画	実 績
利用者数	1,024 人	534 人	-	307 人

※市主催のイベントや諏訪地区公民館の事業、外部団体等による利用者、小学校の総合学習等での利用者で、人数が把握できたものを実績とした。

・施設管理における市の収支状況

区 分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度		
			予 算	実 績	
①収入	使用料収入	-	-	-	
	その他	9	10	4	
	合計	9	10	9	4
②支出	施設維持管理費	1,606	1,471	1,847	1,740
	うち委託料	1,398	1,134	1,463	1,363
	その他	45	36	60	35
	合計	1,651	1,507	1,907	1,775
③公費投入額 (②-①)	1,642	1,497	1,898	1,771	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)	1,604	2,803	-	5,769	

決算書 (P268～P269)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

あさひの里田麦ぶなの森園 778

○実施内容、これまでの経過等

- ・あさひの里田麦ぶなの森園の維持管理及び運営

所在地	大島区田麦 363 番地 5
設置	平成 5 年度
施設	管理棟、トイレ、遊歩道ほか
面積	90.0ha
管理	直営（業務委託）

○施設の管理実績

- ・利用者数

区 分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
			計 画	実 績
利用者数	397 人	75 人	-	92 人

※民間施設の利用者で、人数が把握できたものを実績とした。

- ・施設管理における市の収支状況

区 分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
			予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-
	その他	95	97	42
	合計	95	97	42
②支出	施設維持管理費	865	869	899
	うち委託料	441	457	460
	その他	-	-	-
	合計	865	869	899
③公費投入額 (②-①)	770	772	857	676
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)	1,940	10,293	-	7,348

【事業の成果】

くわどり市民の森

- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、木工作体験や自然観察会を実施するなど集客に努めたことから、令和 2 年度と比較して 1,397 人増の 5,557 人となった。
- ・施設周辺の草刈りや散策コースの整備点検を行い、安全に利用できるよう適切な管理を行った。

光ヶ原わさび田の森、光ヶ原みずばしょうの森

- ・第 4 次上越市公の施設の適正配置計画に基づき、令和 3 年度をもって、市民の森としての供用を廃止した。

決算書 (P268～P269)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

二貫寺の森

- ・自然観察会を開催し集客に努めたほか、野鳥観察会等の公民館事業が定期的で開催されるなど利用者が増えた一方、新型コロナウイルス感染症の影響により、自然体験イベントや小学生の総合学習が中止になるなど令和2年度と比較して227人減の307人となった。
- ・施設内の定期的な草刈りやツリーハウスの修繕などを実施し、適切な維持管理を行った。

あさひの里田麦ぶなの森園

- ・広大なぶな林の中を散策できる遊歩道の維持管理を適切に行い、自然に触れる場を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

くわどり市民の森

- ・散策道の修繕や木工作体験などイベントの内容を充実させ、四季の植物や散策道の見どころなどを市ホームページやSNSにより広く情報を発信し、利用促進に努める。

二貫寺の森

- ・施設の維持管理を適切に行うとともに、イベントの開催内容の充実や市ホームページで情報を発信するなど利用促進に努める。

あさひの里田麦ぶなの森園

- ・第4次上越市公の施設の適正配置計画に基づき、施設の廃止に向けた調整や取組を進める必要がある。

【執行残額について】

- ・事業未実施：害虫が確認されなかったことから害虫駆除業務委託の実施を見送ったため 243
- ・その他：光熱水費、委託料等の実績が当初の見込みを下回ったため 76
- 事業実施に伴い端数残額が発生したため 6

(単位：千円)

決算書 (P268～P269)	6款2項2目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	松くい虫対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
18,101	17,553		9,128		578 (繰越金)	7,847
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	548			411	137	

【目的】

松くい虫被害のまん延を防止するため、薬剤散布や松くい虫の駆除を行い松林の保全を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・薬剤散布及び伐倒駆除を組み合わせることによって、被害の発生を最小限に抑える。

○実施内容、これまでの経過等

- ・森林病虫害防除事業補助金 705

防除方法	実施地区	申請件数	事業費
樹幹注入	合併前上越市、大潟区	8件	705

- ・松くい虫防除事業 16,848

防除方法	実施地区	事業量	事業費
伐倒駆除※	合併前上越市 柿崎区、大潟区	746本 (265.9 m ³)	9,248
薬剤散布(無人ヘリ)		58.7ha	6,150
被害木調査		232.6ha	1,450
合計			16,848

※伐倒駆除746本のうち、239本は令和2年度からの繰越であり、令和3年5月上旬に完了した。

- ・被害実績

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
被害本数	456本	665(239)本	570(63)本
被害量	202.2 m ³	210.9(99.4) m ³	207.2(40.7) m ³

()は次年度に繰り越した被害本数及び被害量

決算書 (P268～P269)	6款2項2目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	松くい虫対策事業		

○目標達成状況

- ・松くい虫被害を抑制するため、適切な時期に薬剤散布や伐倒駆除等を実施することができた。

【事業の成果】

- ・薬剤散布や伐倒駆除、樹幹注入等の防除事業を実施したことにより、松くい虫被害を抑制し、松林の健全な生育に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・松くい虫被害は急激に増加することがあるため、引き続き適切な時期に松くい虫の駆除を実施するとともに、近隣にも配慮しながら松林を保全していく。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 411
委託料 (411)
- ・その他：負担金補助及び交付金の実績が当初の見込みを下回ったため 136
事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

(単位：千円)

決算書 (P268～P271)	6款2項2目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林保育管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
13,369	12,878		3,003		3,116 (財源収入、譲収入)	6,759
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	491			185	306	

【目的】

良質な地域材の生産や温暖化防止、国土保全など、森林の持つ多面的機能の維持向上のため、除間伐等を実施し、適切な保育管理を推進する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

森林保育管理事業 4,232

○実施内容、これまでの経過等

- ・森林地図情報システム及び林地台帳システムを運用し、市内民有林に関する森林や所有者等の諸情報を一元化し、業務の効率化、高度化等を図った。

区分	主な実施内容	事業費
森林地図情報システム 保守業務委託	森林地図情報システム保守 1式 森林地図情報システム研修会 1回	550
森林地図情報システム データ更新業務委託	マスターデータ更新 327,261件 林地台帳システム更新 1式	711

市営分収林整備 7,381

○令和3年度目標

- ・市営分収林の利用間伐 5.0ha 及び材積等の調査 10.0ha を完了させる。

○実施内容、これまでの経過等

- ・分収造林契約に基づき、造林木の施業(保育管理)を実施した。

区分	主な実施内容	事業費
市営分収林わらびの団地整備 業務委託	利用間伐 4.9ha 作業路開設 323m 木材生産 284 m ³	6,984
市営分収林上正善寺団地測量 調査業務委託	材積等の調査 10.0ha	348

○目標達成状況

- ・市営分収林の利用間伐 4.9ha 及び材積等の調査 10.0ha を完了し、おおむね目標を達成することができた。

決算書 (P268～P271)	6款2項2目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	森林保育管理事業		

森林総合研究所分収林整備 1,265

○令和3年度目標

- ・横倉第2団地（牧区）の除伐4.0haを完了させる。

○実施内容、これまでの経過等

- ・分収造林契約に基づき、造林木の施業（保育管理）を実施した。

区分	主な実施内容	事業費
横倉第2団地分収造林整備 事業業務委託	除伐 4.0ha	1,265

○目標達成状況

- ・横倉第2団地（牧区）の除伐について、目標の4.0haを完了させることができた。

【事業の成果】

森林保育管理事業

- ・森林地図情報システムの保守点検及びデータ更新を適切に行い、森林や所有者等の諸情報を一元管理したことにより、森林整備の円滑化に寄与することができた。

市営分収林整備

- ・良質な木材生産に向けて、適切に保育管理（間伐）を実施することができた。
- ・市内材木店等に間伐材を売り払い、上越市産材の供給及び利用促進を図った。
- ・材積等の調査成果について、令和4年度の整備事業に活用することができた。

森林総合研究所分収林整備

- ・水資源のかん養機能を維持するため、適切な保育管理（除伐）を実施することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

森林保育管理事業

- ・森林・林業業務の円滑化や効率的な施業集約化のため、継続して所有者等の諸情報を一元管理し、精度向上を図っていく。

市営分収林整備

- ・今後も良質な木材生産に向けて、生育状況に応じ、計画的に保育管理を実施していく。
- ・利用間伐を進めることにより、上越市産材を安定供給し、利用促進につなげていく。

森林総合研究所分収林整備

- ・水資源のかん養機能の維持や土砂災害の発生を防止するため、分収林の除伐等の森林整備を継続して実施し、適切な保育管理を実施していく。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 185
委託料（185）
- ・その他：消耗品費、保険料の実績が当初の見込みを下回ったため 303
事業実施に伴い端数残額が発生したため 3

(単位：千円)

決算書 (P270～P271)	6 款 2 項 2 目 林業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業振興補助費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,089	5,691			4,200		1,491
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	398				398	

【目的】

良質な地域材の生産に資する民有林の間伐や枝打ち等に係る経費を助成する。

令和 3 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・森林所有者が行う 37.0ha の森林整備に対して支援する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・民有林の間伐、作業道整備等に係る所有者の負担を軽減し、森林整備を推進する。

<森林整備事業補助金>

事業内容	実施数量		事業費
利用間伐	40.2ha	40.4ha	5,691
雪起こし	0.2ha		
作業道整備	4,194m		

○目標達成状況

- ・利用間伐等の森林整備面積について、目標の 37.0ha に対し 40.4ha となり、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・40.4ha の森林整備に対して県と連携して支援することで、森林所有者の負担軽減が図られ、森林整備の促進に寄与するとともに森林環境の保全につなげることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・引き続き、森林整備の促進及び集約化を図っていくため、森林組合等における森林経営計画の作成に向けて、森林情報の提供など支援していく。

【執行残額について】

- ・その他：補助金交付申請額が当初見込みを下回ったため 398

(単位：千円)

決算書 (P270～P271)	6款2項3目 林道整備事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	既設林道維持管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
173,035	127,881		54,107	35,300	3,352 (繰入金、繰越金)	35,122
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
37,964	7,190			1,663	5,527	

【目的】

林道パトロールや市民からの通報等により発見した損傷箇所の修繕を行うほか、側溝清掃や除草を実施し、交通に支障を来さないよう適切な維持管理を行う。

また、林道の草刈りや側溝清掃を地元町内会へ業務委託し、林道維持管理費の縮減を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・市が管理する林道延長、路線数

区名	林道延長	路線数	備考(令和2年度比)
合併前上越市	44,123m	15路線	
安塚区	32,393m	9路線	
浦川原区	13,884m	4路線	
大島区	22,969m	11路線	
牧区	16,233m	5路線	
柿崎区	23,528m	12路線	
大潟区	-	-	
頸城区	8,506m	3路線	
吉川区	24,561m	9路線	
中郷区	9,446m	3路線	
板倉区	21,066m	7路線	
清里区	28,739m	10路線	
三和区	5,469m	2路線	
名立区	32,451m	7路線	林道大町躰畑線 404m増
合計	283,368m	97路線	

決算書 (P270～P271)	6款2項3目 林道整備事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	既設林道維持管理事業		

・主な実施内容

区 分	内 訳	事業費
実施設計委託料	4件	17,374
林道維持管理業務委託料	97路線	2,641
林道除草業務委託料	70路線	17,830
林道側溝清掃業務委託料	22路線	6,244
林道除雪業務委託料	20路線	3,334
林道倒木処理業務委託料	22路線	4,263
林道維持工事	10件(2件)	70,984

()内は、令和4年度へ繰り越した件数

- ・林道南葉山線の笹山橋と濁谷橋2件の橋梁修繕工事については、令和4年度へ繰り越したとなった。

【事業の成果】

- ・林道巡視業務による定期パトロールを実施したほか、除草業務や側溝清掃業務を実施し、林道施設の機能を維持・保全することにより、安全な通行を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・林道の安全な通行を確保するため、適切に維持管理していく。
- ・令和4年度に繰り越した林道南葉山線笹山橋・濁谷橋の修繕工事については、早期完了に努める。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 1,663
委託料 (1,663)
- ・その他：委託料、工事請負費の実績が当初の見込みを下回ったため 5,513
事業実施に伴い端数残額が発生したため 14

(単位：千円)

決算書 (P270～P271)	6款2項3目 林道整備事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林道大町躰畑線整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
64,529	64,524		44,170	19,300		1,054
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	5				5	

【目的】

林道を開設することにより、沿線における間伐・枝打ちなどの森林整備事業を促進し、林業の振興を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・新たに400mの林道を開設する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・事業進捗状況

区分	全体計画 (平成17年度～令和6年度)	令和2年度 まで	令和3年度	令和4年度 以降
工事延長 (m)	5,867	4,393	404	1,070
補助対象事業費 (千円)	823,034	622,283	63,100	137,651
開設進捗率 (%)		74.9	81.8	

○目標達成状況

- ・新たに404mの林道を開設し、目標を達成した。

【事業の成果】

- ・林道沿線に広く分布する杉人工林の整備(利用間伐、保育間伐、下刈り、枝打ち)が進む環境を整えた。

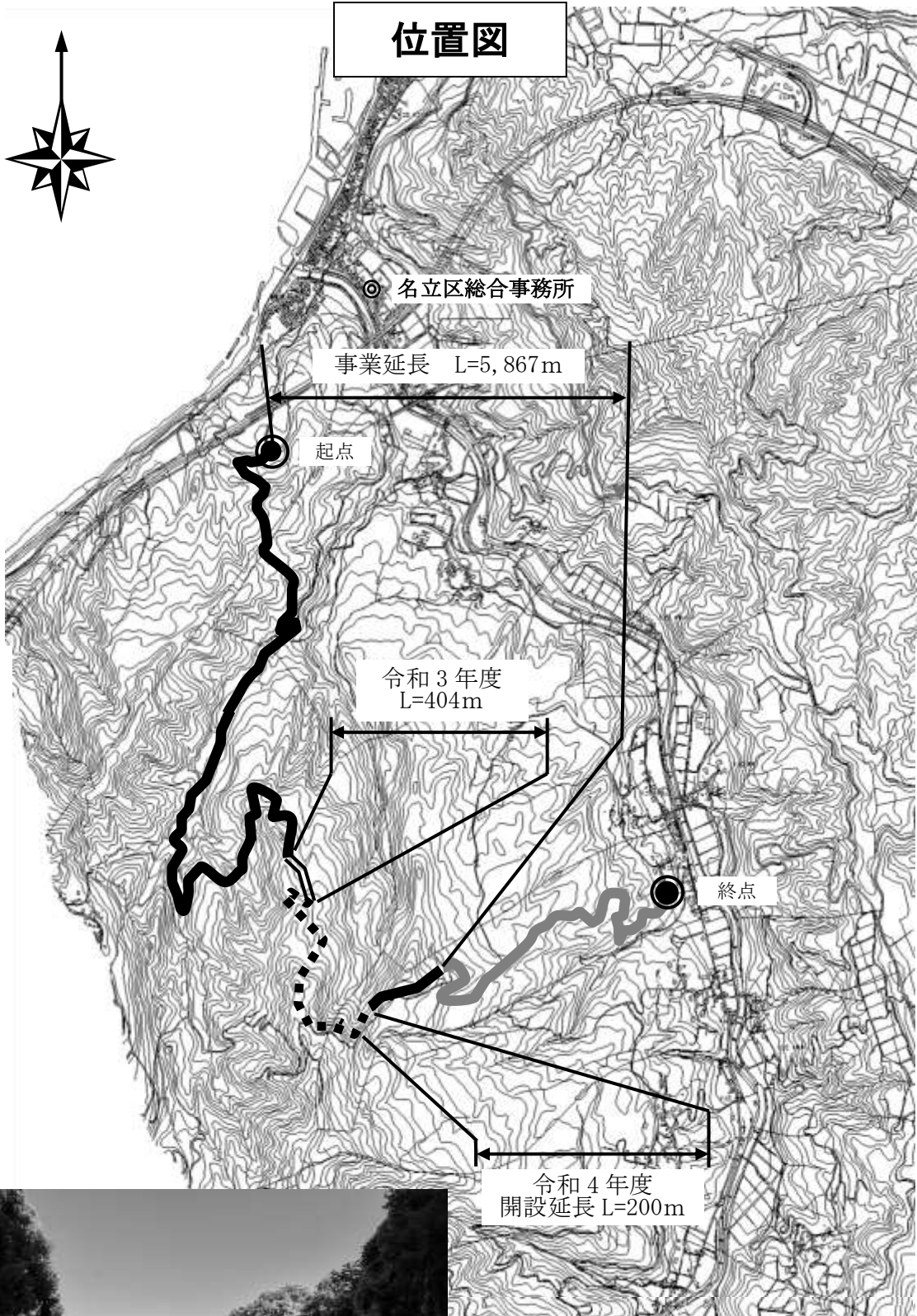
【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・令和6年度の事業完了に向け、令和5年度中に用地取得を完了するよう計画的に取り組む必要がある。

【執行残額について】

- ・その他：事業実施に伴い端数残額が発生したため 5

位置図



(令和3年度完了区間)

凡例		延長
開設区間 (平成17年度～令和2年度)	——	4,393m
令和3年度施工	▭	404m
令和4年度以降	1,070m
開設区間 (平成16年度まで)	—	1,985m

(単位：千円)

決算書 (P272～P273)	6 款 2 項 4 目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	南葉高原キャンプ場管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,858	6,604					6,604
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	254			17	237	

【目的】

豊かな森林環境を活用した快適なキャンプ場を維持し、レクリエーションの場を提供するとともに、地域の活性化を図る。

令和 3 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・南葉高原キャンプ場の維持管理及び運営

所在地	大字中ノ俣 4966 番地 194 他
設置	昭和 56 年度
施設	学習・休憩棟、南葉ロッジ(食堂・売店)、 バンガロー7棟、テントサイト75か所、炊事場1か所、 公衆トイレ2か所ほか
管理	指定管理

- ・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	南葉高原キャンプ場管理運営協議会
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

- ・利用者数

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計画	実績
利用者数	17,884 人	7,519 人	-	10,444 人
うち日帰り者数	13,247 人	3,692 人	-	5,244 人
うち宿泊者数	4,637 人	3,827 人	-	5,200 人

決算書 (P272～P273)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	南葉高原キャンプ場管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	南葉高原キャンプ場 管理運営委託料	8,188	8,188	6,259	6,259
	管理運営委託料以外 の経費	1,434	205	599	345
	合計	9,622	8,393	6,858	6,604
③公費投入額 (②-①)		9,622	8,393	6,858	6,604
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		538	1,116	-	632

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	4,151	3,643	3,000	4,985
	南葉高原キャンプ場 管理運営委託料	8,188	8,188	6,149	6,149
	その他	4,017	2,455	3,817	1,358
	合計	16,356	14,286	12,966	12,492
②支出		16,309	14,174	12,966	12,341
差引 (①-②)		47	112	0	151

【事業の成果】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により4、5月が休場となった令和2年度と比較し2,925人増の10,444人となったが、令和元年度との比較では7,440人の減であり、コロナ禍前の水準までは回復しなかった。
- ・施設内の維持管理を適切に行い、利用者に快適な環境を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、適切な管理運営を行い利用促進に努める。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 17
備品購入費 (17)
- ・その他：修繕料、使用料及び賃借料、原材料費の実績が当初の見込みを下回ったため

(単位：千円)

決算書 (P272～P273)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	菖蒲高原緑地休養広場管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,805	5,802			4,900	41 (繰入)	861
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3			3	0	

【目的】

信越トレイル周辺のブナ原生林や四季折々の植物など、自然を身近に感じられる活動の場を提供することにより、市民の健康増進を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- 菖蒲高原緑地休養広場の維持管理及び運営

所在地	大島区菖蒲 2962 番地 1
設置	昭和 63 年度
施設	コテージ 10 棟 (木造 1 階建 4 棟、木造 2 階建 6 棟)、 森林体験交流センター、野外ステージほか
面積	34.6ha
管理	指定管理

- 指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	菖蒲高原管理運営組合
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

- 利用者数

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計画	実績
利用者数	2,990 人	1,139 人	-	1,498 人
うち日帰り者数	2,331 人	1,013 人	-	1,295 人
うち宿泊者数	659 人	126 人	-	203 人

決算書 (P272～P273)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	菖蒲高原緑地休養広場管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	菖蒲高原緑地休養広場管理運営委託料	6,137	4,955	4,955	4,955
	管理運営委託料以外の経費	672	1,310	850	847
	合計	6,809	6,265	5,805	5,802
③公費投入額 (②-①)		6,809	6,265	5,805	5,802
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		2,277	5,500	-	3,873

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	2,371	543	423	730
	菖蒲高原緑地休養広場管理運営委託料	6,137	4,955	4,955	4,955
	その他	1,280	893	778	767
	合計	9,788	6,391	6,156	6,452
②支出		8,442	5,803	5,552	5,881
差引 (①-②)		1,346	588	604	571

【事業の成果】

- ・コロナ禍の中、宿泊者数、日帰り者数ともに増加し、利用者数は令和2年度と比較して359人増の1,498人となった。
- ・施設の維持管理を適切に行い、野外での交流等の場を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・施設が老朽化していることから、修繕等を適切に行い利用促進に努める。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 3
修繕料 (3)

(単位：千円)

決算書 (P272～P273)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	大潟夕日の森管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,401	1,396					1,396
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	5				5	

【目的】

地域・都市住民の家族が自然とふれあい楽しめる保健休養地となるよう、適切な管理を行う。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・大潟夕日の森の維持管理及び運営

所在地	大潟区潟町209番地
設置	昭和55年度
施設	夕日の森展望台、遊歩道、ハマナスの池、 駐車場1,200㎡(40台)、トイレ2か所
面積	11.5ha
管理	直営(業務委託)

・施設管理における市の収支状況

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			予算	実績
①収入	使用料収入	-	-	-
	その他	-	-	-
	合計	-	-	-
②支出	施設維持管理費	1,396	1,778	1,401
	うち委託料	1,120	1,472	1,121
	その他	-	-	-
	合計	1,396	1,778	1,401
③公費投入額(②-①)	1,396	1,778	1,401	1,396

決算書 (P272～P273)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	大瀉夕日の森管理運営費		

【事業の成果】

- ・草刈りなど適切な維持管理を行い、利用者が快適に利用できる施設を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・利用者の安全と快適性を確保するため、引き続き、施設の適切な維持管理を実施していく。

【執行残額について】

- ・その他：光熱水費の実績が当初の見込みを下回ったため 3
事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P272～P273)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	上下浜日本海夕日の森管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
650	626				9 (譲入)	617
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	24				24	

【目的】

飛砂防備保安林内の松林やハマナスの植栽等が市民にとっての保健休養地となるよう、適切な管理を行う。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・上下浜日本海夕日の森の維持管理及び運営

所在地	柿崎区上下浜 244 番地 1
設置	平成 7 年度
施設	駐車場 1,200 m ² (40 台)、トイレ 1 か所、遊歩道
面積	2.5ha
管理	直営 (業務委託)

- ・施設管理における市の収支状況

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
			予算	実績	
①収入	使用料収入	-	-	-	
	その他	9	9	9	
	合計	9	9	9	
②支出	施設維持管理費	701	683	650	626
	うち委託料	390	391	400	400
	その他	-	-	-	-
	合計	701	683	650	626
③公費投入額 (②-①)	692	674	641	617	

決算書 (P272～P273)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	上下浜日本海夕日の森管理運営費		

【事業の成果】

- ・草刈りなど適切な維持管理を行い、利用者が快適に利用できる施設を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・利用者の安全と快適性を確保するため、引き続き、施設の適切な維持管理を実施していく。

【執行残額について】

- ・その他：光熱水費、手数料の実績が当初の見込みを下回ったため 23
事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

(単位：千円)

決算書 (P272～P273)	6 款 2 項 4 目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	やすらぎの森大島管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
226	219				9 (譲入)	210
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	7				7	

【目的】

防災・水源かん養・環境保全機能の強化を図るとともに、市民に緑豊かなブナ林のなかで自然とふれあい、心安らぐ憩いの場を提供する施設として、適切な管理を行う。

令和 3 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・やすらぎの森大島の維持管理及び運営

所在地	大島区大島 2099 番地
設置	平成 15 年度
施設	管理棟、トイレ、遊歩道ほか
面積	12.0ha
管理	直営(業務委託)

○施設の管理実績

- ・施設管理における市の収支状況

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予算	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	9	9	9	9
	合計	9	9	9	9
②支出	施設維持管理費	225	225	226	219
	うち委託料	209	210	210	210
	その他	-	-	-	-
	合計	225	225	226	219
③公費投入額(②-①)		216	216	217	210
④利用者1人当たりの公費投入額(単位：円)		1,469	-	-	-

決算書 (P272～P273)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	やすらぎの森大島管理運営費		

【事業の成果】

- ・草刈りなど適切な維持管理を行い、利用者が快適に利用できる施設を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・利用者の安全と快適性を確保するため、引き続き、施設の適切な維持管理に努める。

【執行残額について】

- ・その他：光熱水費の実績が当初の見込みを下回ったため 7

(単位：千円)

決算書 (P272～P273)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	海洋フィッシングセンター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
592	589					589
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3				3	

【目的】

市民の余暇活動の推進を図るため、棧橋からの釣りや自然の岩場を利用したサンビーチでの磯遊びができる施設として、適切な維持管理を実施する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・海洋フィッシングセンターの維持管理及び運営

所在地	大字虫生岩戸719番地先
設置	昭和58年度
構造	鉄骨造 釣り棧橋 L=185.0m W=3.5～4.5m
管理	指定管理

- ・指定管理の状況

導入開始年度	平成23年度
指定管理者	環境をサポートする株式会社きらめき
指定の期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日

○施設の管理実績

- ・利用者数

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計画	実績
利用者数	8,701人	5,954人	-	5,690人

決算書 (P272～P273)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	海洋フィッシングセンター管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	海洋フィッシングセンター管理運営委託料	541	520	526	526
	新型コロナウイルス減収補填金※	-	141	-	-
	管理運営委託料以外の経費	3,286	396	66	63
	合計	3,827	1,057	592	589
③公費投入額 (②-①)		3,827	1,057	592	589
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		440	178	-	104

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したものの

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	1,202	816	1,403	780
	海洋フィッシングセンター管理運営委託料	541	520	526	526
	新型コロナウイルス減収補填金※	-	141	-	-
	その他	1,462	764	1,530	848
	合計	3,205	2,241	3,459	2,154
②支出		2,832	2,195	3,459	2,343
差引 (①-②)		373	46	0	△189

※新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したものの

【事業の成果】

- ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、親子釣り教室を定期的を開催するなど、集客に努めたが、8月の土・日曜日の天候不良により利用者が減少したことから、令和2年度と比較して264人減の5,690人となった。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・イベント開催のチラシを配布するなど、指定管理者と連携したPR活動を行い利用促進を図る。

【執行残額について】

- ・そ の 他：使用料及び賃借料が当初の見込みを下回ったため 3

(単位：千円)

決算書 (P274～P275)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	水産業活性化対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,090	1,986		200			1,786
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	104				104	

【目的】

水産物の安定的な漁獲を確保するため、種苗の放流を行い、水産資源の維持を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・漁業団体が行う水産資源の維持を図る取組を支援する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・漁業種苗放流事業補助金

漁場	事業主体	魚種	数量	事業費
海面	上越市漁業協同組合	ヒラメ	22,900尾	934
		クルマエビ	100,000尾	
内水面	関川水系漁業協同組合	アユ	70kg	144
	桑取川漁業協同組合	アユ	80kg	163
合計				1,241

○目標達成状況

- ・漁業協同組合が行った、ヒラメやアユなどの種苗放流に対し支援した。

【事業の成果】

- ・水産資源の維持に向けた取組として、漁業協同組合が実施した、ヒラメやアユなどの種苗を放流する取組を支援し、つくり育てる漁業を推進した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地域水産業の持続的な漁業生産量を確保するため、引き続き水産資源を保全するための取組を支援する。

【執行残額について】

- ・その他：旅費、負担金補助及び交付金等の実績が当初の見込みを下回ったため 104

(単位：千円)

決算書 (P274～P275)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	漁港漁村活性化事業（フィッシャリーナ）		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,479	8,317		345		2,453 (使用料 譲収入)	5,519
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	162		10		152	

【目的】

漁港施設の適切な維持管理を実施し、漁業の推進とあわせて、漁港施設の利便性を確保する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・有間川漁港の維持管理及び運営

所在地	大字有間川地先
施設	防波堤、護岸、突堤、船揚場、物揚場、浮棧橋、休憩施設、臨港道路ほか
設置経過	昭和49年度 第1種漁港指定 昭和50年度 着工 昭和63年度 供用開始 平成25年度 完成
管理	直営

・主な事業内容

有間川漁港の維持管理 7,646
漁港斜路滑材修繕工事及び空調設備設置工事 671

○施設の管理実績

- ・フィッシャリーナ利用実績

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
プレジャーボート	2隻	2隻	2隻
営業船(釣船等)	11隻	11隻	8隻
ヨット	1隻	1隻	1隻
合計	14隻	14隻	11隻

決算書 (P274～P275)	6款3項1目 水産業振興費	所管課等	農林水産整備課
事業名	漁港漁村活性化事業（フィッシャリーナ）		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	2,616	2,895	2,895	2,403
	その他	41	38	40	50
	合計	2,657	2,933	2,935	2,453
②支出	施設維持管理費	9,723	4,351	7,382	7,272
	うち委託料	3,091	3,195	3,542	3,525
	その他	-	-	-	-
	合計	9,723	4,351	7,382	7,272
③公費投入額（②－①）		7,066	1,418	4,447	4,819
④利用船1隻当たりの 公費投入額（単位：円）		504,714	101,286	404,273	438,091

※有間川漁港に係る経費を除いたフィッシャリーナに係る経費を算出

【事業の成果】

- ・施設の適切な維持管理により、船舶の安全性や漁港利用者の利便性を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・定期的な巡回や利用者への聞き取り等により施設の状況を把握し、船舶の入出港や係留に支障を来すことのないよう、引き続き適切な維持管理を実施していく。

【執行残額について】

- ・事業未実施：新型コロナウイルス感染症対策の観点から会議等が中止となったため 10
- ・そ の 他：光熱水費、委託料等の実績が当初の見込みを下回ったため 150
- 事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P274～P275)	6款3項2目 漁港建設費	所管課等	農林水産整備課
事業名	柿崎漁港整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,429	1,371				19 (譲入)	1,352
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	58				58	

【目的】

漁港施設の適切な維持管理を実施し、漁業の推進とあわせて、漁港施設の利便性を確保する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・柿崎漁港の維持管理及び運営

所在地	柿崎区直海浜地先
施設	防波堤、護岸、防砂堤、船揚場、物揚場、離岸堤、 臨港道路ほか
設置経過	昭和52年度 第1種漁港指定 昭和53年度 着工 平成11年度 供用開始 平成21年度 完成
管理	直営(業務委託)

- ・主な事業内容

維持管理 366

維持浚渫^{しゅんせつ}工事 1,005

決算書 (P274～P275)	6款3項2目 漁港建設費	所管課等	農林水産整備課
事業名	柿崎漁港整備事業		

○施設の管理実績

- ・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	19	19	19	19
	合計	19	19	19	19
②支出	施設維持管理費	6,751	6,754	1,429	1,371
	うち委託料	258	353	266	219
	その他	-	-	-	-
	合計	6,751	6,754	1,429	1,371
③公費投入額 (②-①)		6,732	6,735	1,410	1,352

【事業の成果】

- ・港内の浚渫^{しゅんせつ}工事を行い、船舶の安全性を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・定期的な巡回や漁業協同組合への聞き取り等により施設の状況を把握し、漁船の入出港や係留に支障を来すことのないよう、引き続き適切な維持管理を実施していく。

【執行残額について】

- ・そ の 他：委託料、手数料等の実績が当初の見込みを下回ったため 56
事業実施に伴い端数残額が発生したため 2

(単位：千円)

決算書 (P274～P275)	6款3項2目 漁港建設費	所管課等	農林水産整備課
事業名	大潟漁港整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
27,220	27,129			23,900	14 (使用料)	3,215
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	91				91	

【目的】

漁港施設の適切な維持管理を実施し、漁業の推進とあわせて、漁港施設の利便性を確保する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・大潟漁港の維持管理及び運営

所在地	大潟区渋柿浜地先
施設	防波堤、護岸、船揚場、物揚場、離岸堤、漁具倉庫、休憩施設、臨港道路ほか
設置経過	昭和57年度 第1種漁港指定 昭和57年度 着工 平成17年度 供用開始 平成27年度 完成
管理	直営(業務委託)

- ・主な事業内容

維持管理 242
物揚場復旧工事及び砂撤去工事 26,887

決算書 (P274～P275)	6款3項2目 漁港建設費	所管課等	農林水産整備課
事業名	大潟漁港整備事業		

○施設の管理実績

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	14	14	14	14
	その他	-	-	-	-
	合計	14	14	14	14
②支出	施設維持管理費	8,959	13,122	27,220	27,129
	うち委託料	7,686	76	186	163
	その他	-	-	-	-
	合計	8,959	13,122	27,220	27,129
③公費投入額 (②-①)		8,945	13,108	27,206	27,115

【事業の成果】

- ・東側物揚場の陥没について復旧工事を実施し、施設の機能保全を図った。
- ・港内の砂撤去工事を行い、船舶の安全性を確保することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・定期的な巡回や漁業協同組合への聞き取り等により施設の状況を把握し、漁船の入出港や係留に支障を来すことのないよう、引き続き適切な維持管理を実施していく。

【執行残額について】

- ・そ の 他：工事請負費、委託料等の実績が当初の見込みを下回ったため 90
事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

(単位：千円)

決算書 (P378～P379)	11款1項1目 農地、農業用施設災害復旧費	所管課等	農政課 農林水産整備課
事業名	農地、農業用施設災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
566,230	220,252	2,134	72,883	7,200	32,112 (分担金、繰越金)	105,923
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
108,328	237,650			806	236,844	

【目的】

融雪、豪雨等により被災した農地、農業用施設を復旧し、農業生産基盤の維持を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- 被災した農地及び農業用施設の速やかな復旧を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- 令和3年度災害復旧工事件数

区分	令和2年度(繰越)		令和3年度			合計
	公共災害		公共災害	小規模災害		
	11月豪雨	地すべり	地すべり等	融雪	8月豪雨等	
合併前上越市	-	-	-	9	2	11
安塚区	-	-	-	15	3	18
浦川原区	1	-	-	9	2	12
大島区	1	-	-	18	5	24
牧区	-	-	2(2)	29	9	40(2)
柿崎区	-	-	-	4	-	4
頸城区	-	-	-	2	-	2
吉川区	-	-	1(1)	9	4	14(1)
中郷区	-	-	-	-	3	3
板倉区	-	-	-	15	4	19
清里区	-	-	1(1)	13	7	21(1)
三和区	-	-	-	1	-	1
名立区	-	1	-	7	5	13
合計	2	1	4(4)	131	44	182(4)
	3			175		

()内は、令和4年度へ繰り越した件数

決算書 (P378～P379)	11款1項1目 農地、農業用施設災害復旧費	所管課等	農政課 農林水産整備課
事業名	農地、農業用施設災害復旧費		

・農作業施設等の被害状況

被災区分	件数 (件)	棟数 (棟)	被害額 (千円)
農業用ハウスの破損等*	152	303	416,612
農作業場等の破損	33	36	47,839
J A 共同利用施設の破損	10	22	52,046
畜舎の破損	9	13	24,361
鶏舎の破損	2	2	5,550
果樹棚番線の断線	8	-	62,622
計	214	376	609,030
経営体数	203 経営体		

※農業用ハウス等の倒壊により被災した農業機械の再取得・修繕を含む

・補助事業の申請件数

支援事業	件数 (件)	棟数 (棟)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	
強い農業担い手づくり総合支援交付金	33	53	120,445	48,497	
持続的生産強化対策事業	産地緊急支援対策	18	36	46,054	16,133
	果樹産地再生支援対策	1	-	-	-
畜産経営災害総合対策緊急支援事業	9	13	-	-	
計	61	102	166,499	64,630	
申請率	31.3%	26.6%	-	-	

・災害ごみの集積状況

開設場所	集積量 (t)	金額 (円)
J A えちご上越大潟カントリーエレベーター (大潟区)	35.39	1,848,966
柿崎総合体育館第2駐車場 (柿崎区)	110.00	1,519,100
J A えちご上越三和ラック倉庫 (三和区)	15.85	551,100
旧旭保育園跡地 (吉川区)	4.40	220,616
山本ぶどう園駐車場 (浦川原区)	22.18	597,228
合計	187.82	4,737,010

○目標達成状況

- ・被災した農地及び農業用施設については、早期に予算を確保し、速やかな復旧を行った。

【事業の成果】

- ・令和3年度に繰り越した公共災害3件(名立区瀬戸地区、浦川原区東俣地区、大島区大平地区)については、令和3年12月までに工事が完了し、令和3年度の小規模災害175件とともに、耕作に支障とならないよう復旧を行った。

決算書 (P378～P379)	11款1項1目 農地、農業用施設災害復旧費	所管課等	農政課 農林水産整備課
事業名	農地、農業用施設災害復旧費		

- ・令和2年度の大雪により被災した農業用ハウスなどの農作業施設の復旧に対し、国の支援制度の活用を促すとともに、市が上乘せして補助することにより、早期の営農再開につなげることができた。
- ・また、上越市版「大雪災害のリスクに備えるためのチェックリスト」を作成し、不測の事態への備えについて農業者へ周知し、活用を促した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・令和4年度へ繰り越した豪雨災害1件（吉川区石谷地区）については、令和4年に復旧を完了するとともに、地すべり災害3件（清里区梨平地区、牧区棚広地区、桜滝地区）については、国の災害査定を令和4年に受け、令和6年の営農再開に向け復旧を進める。
- ・令和4年2月に認定農業者に対し実施したアンケートにおいて、災害時の備えに対する意識が低かったことから、引き続き上越市版「大雪災害のリスクに備えるためのチェックリスト」及び「農業版BCP」の周知を行い、活用を促していく必要がある。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 806
工事請負費（806）
- ・その他：委託料、工事請負費、負担金補助及び交付金等の実績が当初の見込みを下回ったため 236,841
事業実施に伴い端数残額が発生したため 3

(単位：千円)

決算書 (P380～P381)	11款1項2目 林業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業用施設災害復旧費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
50,467	32,302		5,616	500		26,186
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
15,122	3,043				3,043	

【目的】

融雪、豪雨等により被災した林業用施設を復旧し、林業生産基盤の維持を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・被災した林業用施設の速やかな復旧を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・令和3年度災害復旧工事等件数

区分	令和3年度			合計
	公共災害	小規模災害		
	※地すべり	融雪	8月豪雨等	
合併前上越市	1 (1)	6	3	10 (1)
安塚区		-	1	1
浦川原区		-	2	2
大島区		1	4	5
牧区		-	2	2
柿崎区		-	2	2
頸城区		1	-	1
吉川区		-	3	3
板倉区		-	4	4
清里区		-	4	4
三和区		2	-	2
名立区		2	8	10
合計	1 (1)	12	33	46 (1)
		45		

※令和元年の台風19号により被災した林道中ノ俣線(事故繰越)と同一箇所()内は、令和4年度へ繰り越した件数

決算書 (P 380～P 381)	11 款 1 項 2 目 林業用施設災害復旧費	所管課等	農林水産整備課
事業名	林業用施設災害復旧費		

○目標達成状況

- ・被災した林業用施設については、早期に予算を確保し、速やかに復旧することができた。

【事業の成果】

- ・令和 3 年度の小規模災害 45 件については、速やかに復旧を行った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・令和 4 年度へ繰り越した林道中ノ俣線については、国の災害査定を令和 4 年に受け、令和 6 年の開通に向け速やかな復旧に努める。

【執行残額について】

- ・その他：工事請負費の実績が当初の見込みを下回ったため 3,042
事業実施に伴い端数残額が発生したため 1